

日常の安心&新たな日常の創造 — 安心して住み続けられるまちへ —

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、毎日が安心して暮らせるよう、まずは、令和2年度に予算化し、取り組んでいる「感染症から市民生活を守る対策」に、引き続いて取り組みます。

そのうえで、人口減少や少子高齢化など、今までに経験したことがない暮らしや経済の諸課題に、きめ細かに対応するほか、「新たな日常」を見据え、新しい社会に対応する「変革」を進めていけるよう、「行政のデジタル化」や「移住交流の推進」といった未来へとつながる取組を強化することで、ウィズコロナ、ポストコロナでの「安心して住み続けられるまちづくり」を進めます。

1. 「日常」の安心・くらし経済支援

地域で安心して医療が受けられる「医療体制」の充実や、地域で支え合う「地域共生社会」に向けた仕組みづくり、安心して子どもを育む「子育て支援」や「防犯防災」体制の強化のほか、「就労・起業」の支援や地域の「活力創出」など、様々な諸課題に、きめ細かに取り組みます。

① 「安心」して暮らせるまちづくり

- 医療体制の充実 : 産婦人科医・小児医療体制確保、移植ドナー支援助成
- 地域共生社会の推進 : 重層的支援体制整備、認知症カフェ開設、福祉介護人材確保、訪問等介護サービス確保（中山間地域）
- 子育て支援 : 多胎児家庭支援、待機児童対策（放課後児童クラブ民間参入・保育士奨学金）
- 防犯防災体制強化 : 安全安心のまちづくり推進事業交付金、告知放送システム更改、防災重点ため池耐震診断
- インフラ整備 : 市営住宅北新団地建替整備事業、豊公園再整備事業、地福寺神照線整備事業、南田附神前線整備事業

②「産業・経済」基盤強化、活力の創出

- 起業支援：空き店舗スタートアップ支援、創業支援資金保証料補給事業
- 就労確保：働く女性応援、女性の活躍応援プロジェクト、労働力マッチング支援
- 活力創出：中心市街地活性化ミライビジョン、田村駅周辺空間活用事業、丹生ダム建設事業中止に伴う地域振興事業

2.未来への変革・新たな「日常」創造

ポストコロナ期に向け、「行政デジタル化」と「民間活力の導入」を推進することで、市の業務の利便性や効率性を高め、行政の変革による市民サービスの向上を図ります。また、移住支援体制の整備に加え、新たな観光スタイルでの交流やリモートワークを行う企業・人材の誘致を図る「移住交流」を推進し、長浜市が培ってきた暮らしの文化や生業に新たな視点を加えることで、ビジネスの創出、文化・経済活動の活性化による未来に向けた地域づくりをめざします。

①行政デジタル化・民間活力導入促進

- 行政デジタル化専門人材確保
- 保育業務支援システム導入
- 市民公開地理情報システム拡充
- 証明書交付窓口の一元化
- しょうがい福祉窓口民間委託

②ふるさと移住交流の推進

- 体験型観光推進
- ワーケーション推進
- 観音の里祈りと暮らしの文化伝承
- 東京ー長浜リレーションズ（関係人口による地域課題解決）
- ふるさと納税返礼品拡充
- 移住コンシェルジュ設置など移住支援体制の整備
- 移住支援補助金・結婚新生活支援補助金

■新型コロナウイルス感染症対策

（令和2年度に予算化し、引き続き取り組む事業）

ワクチン接種をはじめ、各施設や病院、学校での衛生対策により、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るほか、感染症の影響から、市民生活や産業を守る取組を行います。

- 感染拡大防止：新型コロナウイルス感染症ワクチン接種、衛生物品（マスク、消毒液等）の確保と備蓄
- 生活・産業支援：在宅環境改善住宅改修支援助成金、新生児特別臨時給付金
農業者収入保険加入促進（令和3年度でも予算化）